

【事業の目的】

令和 6 年 7 月豪雨災害で被害を受けた北青沢の家屋を活用し、技術系ボランティアおよび災害対応人材の育成拠点を設置することで、平時から災害に備える体制を構築する。実践的な研修を通じて、被災直後から復旧期に至るまで円滑に対応できる人材を地域内で育成し、地域防災力の向上を図る。

【事業の内容】 ※令和 8 年 7 月時点

○上半期：資機材準備、施設整備および研修プログラム作成

○下半期：定期研修および実地訓練の実施（3回程度予定）

- ・被災家屋を活用した復旧技術研修（泥出し、床下作業、消毒、乾燥方法等）
- ・資機材の取り扱い訓練、安全管理講習
- ・技術系ボランティアの継続育成およびネットワーク構築

※仙北市での泥出し作業（2025 年 9 月）



酒田もぐり隊

HP

Instagram



※チェーンソー取扱い研修（2026 年 6 月）



**R8
補助金**

**出羽の国自転車活用推進協議会
「走るギャラリー」サイクル応援グッズ制作プロジェクト部会**

**団体
育成型**

事業名 障がい者アート × 地域サイクル文化
「走るギャラリー」サイクル応援グッズ制作プロジェクト（補助額 100,000 円）

【事業の目的】

障がいのある方のアート作品を使用してサイクルジャージ及び T シャツ等を作成(まずはデザインの検討)し、今後、サイクルイベントで着用するなどして、“走るメディア”として市民に広く発信していく。

またサイクル応援グッズなども使い、地元開催のサイクルイベントと一緒に盛り上げるこのプロジェクトをひとつのきっかけにし、制作・展示・交流を一体的に行うことで、福祉・文化・まちづくりを横断する新たな地域価値を創出したい。

【事業の内容(予定)】 ※令和 8 年 7 月時点

○7 月下旬～8 月上旬 作品制作ワークショップの開催

- ・特別支援学校の児童生徒と一般市民が共同で「自転車」をテーマとしたアート系ワークショップを開催

☆8/12～16「いいいろいろ展(プレ展示:ミライニ)」等で作成過程などをお披露目

○8 月～9 月上旬 デザイン検討会議、制作

出来上がった作品をナカマチラボがサイクルジャージ及び T シャツ等のデザインに仕上げていく

○9 月～11 月 「じろで庄内」 ※検討中

- ・サンプルを製作し、「じろで庄内」等のサイクルイベントで実際に主催者、支援者に着用してもらう

【事業の目的】

団体の活動を通して、沢山の市民が地域に存在する「障害(バリア)」を正しく捉え、理解し、これを取り除く必要性を感じる事が重要だと考えた。そこで、一年を通して「バリアフリー」を多面的に捉え学ぶイベントシリーズを実施する。障がい者自身がファシリテーターとなって進める発見型障害学習を中心に、パラスポーツやカフェ、講演会などで、地域に存在するバリアについて障がい者と健常者が共に無理なく楽しく学び考える企画を実施する。

【事業の内容(予定)】 ※令和 8 年7月時点

○8月 難病・障がいカフェ・サマーシリーズ (当事者講演、フリートーク)

- ・当事者、支援者と市民で情報交換

○9月 パラスポーツの集い・オータムシリーズ (ボッチャやピラティス体験、フリートーク)

- ・当事者と健常者のスポーツ交流を通じて障害を身近に

○11月 障害平等研修～みんなが心地よい街をつくる～・ウィンターシリーズ(研修、フリートーク)

- ・障害の社会モデルの視点の獲得と行動変容の発見学習

○3月 まちの「やさしさ」発見セミナー・スプリングシリーズ(講演・事例紹介、ワークショップ等)

- ・ワークショップ形式のバリアフリー講演会



▲Facebook

【事業の目的】

近年活気の減少が指摘されている酒田駅前エリアにおいて、地域住民・観光客・市内団体が集う交流イベントを開催し、中心市街地の賑わい創出と地域活性化を目的とする。

地方都市においては、駅前の人流減少や地域コミュニティの希薄化が課題となっているため、本イベントでは、音楽やパフォーマンス、地域団体の発表、飲食の出店などを通じて多世代が参加できる場を創出し、地域住民の交流促進と外出機会の創出を図る。

また、本イベントを継続的に開催することで、駅前の賑わい創出だけでなく、市内回遊の促進、観光誘客、地域コミュニティ形成など、多面的な地域活性化を目指す。

【事業の内容(予定)】 ※令和 8 年 7 月時点

○酒田駅前ビアごちフェスティバル

日時:8/30(日) 午前 11 時～午後 19 時 30 分

場所:酒田市立図書館ミライニ広場、および駅前広場(酒田市)

- ・飲食出店ブースの設置
- ・ステージパフォーマンス
- ・地域団体の発表の場の提供(ダンス、音楽、パフォーマンス、文化活動の紹介等)
- ・地域魅力の発信



▲Instagram

【事業の目的】

県花紅花については、内陸地方でのみ栽培されている印象が強く、庄内でも紅花栽培が行われていることについて知らない市民が多い。紅染めだけでなく、紅花若菜は食用ができることや漢方薬であることなどの知識を深め、紅花を身近なものとし、庄内産の紅花の活用を広め、観光土産となるような特産品の開発につなげたり、作付面積を広げるために栽培者を増やし農業資源とするなど、市の活性化につなげたい。

【事業の内容(予定)】 ※令和 8 年 7 月時点

○紅花摘み体験者募集

紅花の開花時期(7 月中旬～下旬)に合わせて、複数日を設定し、花摘み体験希望者を募集し、都合の良い日の早朝～午前中を申し込んでいただき、畑に来て花摘み体験をしてもらう。

○北前朝市参加(7 月)

パンフレットや種子を配り、花摘み体験希望者の募集と、会の存在を宣伝し、紅花の切り花の販売を行う。



▲会のパンフレットは、総合文化センター、ミライニ、交流ひろば、産直の店などに設置しています。